

佐々木備前立百餘騎都合三千餘騎由利堀羽川
江御出張合戦以後仁賀保降参依く角館等
帰陳近隣より日々に祝賀せしむる人々小野
寺中務大夫の郷主馬分下田孫十郎小笠原左馬
介本堂源七郎茂木氏部少輔八柳采女正黒川
縫殿分中庵安房進藤筑後田口加賀小庵其
介一族幕下は節小野寺實通角館と和睦
而して秋田と合戦をせしむるは是より後秋田と
降参一味津經越中加勢立百餘騎宮川五郎左
三門西館兵庫有藤平十郎を大將として秋田の

是す松前志广守元重八表氏邑を侵し其勢を万
立千餘騎夷^{マタ}北大將四人松前北家人佐原權太郎
張本三郎を流して大船七百餘艘を取奪て秋田の濱
小着秋田方都合式万余人戸沢方より秋田方豊^{マタ}
田北城を攻め進諸軍勢を催し而して馳集るる
みち小笠原六百餘騎本堂三百餘騎六郷三百
立十餘騎下田式百三十騎小館百八十人中館百
余人仁賀保三百余人西野百三十余人大野六十人
堀田七十人根所并立十人其勢式千五百七十余
人角館に馳集る都合四千三百餘騎文安元年二月